

# 教育目標 「共に学び 共に生きる」力を育てる



## めざす子どもの姿

- 仲間と学び合う子
- 相手をおもいやり 考えて行動する子
- 心とからだをきたえる子

## めざす学校の姿

- 学び合い 高め合う学校
- 支え合い 助け合う学校
- 地域や保護者とともに育つ学校



### 重点1 確かな学力と学びの保障をめざす

- 一人ひとりの学びの保障を目指した授業づくり
  - ・「めあて(つきたい力)」を授業の初めの段階で提示する。
  - ・他者の発言を聴くことの大切さを指導する。
  - ・学習活動にペア学習やグループ活動を取り入れる。
  - ・授業の終わりの段階で「めあて」の達成度を確認する。
- ICTを活用した授業づくり
  - ・教科学習で、タブレット・プロジェクターセット・電子黒板を活用した学習活動を創造する。
- 読書活動の推進
  - ・司書と協働して読書を楽しめる図書室の環境を整備する。
  - ・コミュニティルーム(第1図書室)・メディアルーム(PC室・第2図書室)の効果的な活用を図る。

### 重点2 思いやりのある心を育てる

- 教育活動全般における道徳性の育成
  - ・児童理解を基盤とした教師と児童の人間関係を構築する。
  - ・豊かで確かな人権教育(なかまづくり)を推進する。
- 規律ある生活態度の育成
  - ・場に応じた正しい言葉の選択と態度を育てる。
  - ・登下校時の正しい歩行と挨拶の励行を図る。
  - ・清掃の励行を図る。
- 他者を傷つけない心の育成
  - ・Q Uの活用や教育相談を行い、いじめにつながらないように問題行動の早期発見早期解決につなげる。
  - ・他者を傷つけない態度や言葉づかいを指導する。

### 重点3 体力と安全意識の向上をめざす

- 体育科の授業の充実と体力の向上
  - ・運動の中心となるおもしろさを大切にした体育科の授業づくりを進める。
  - ・授業に、5分間運動を取り入れる。
  - ・体力向上週間を学期に一度実施し、自分にあった遊び、運動を見つけ、継続して運動をする習慣を身につけさせる。
- 健康・安全意識の向上
  - ・正しい姿勢の励行を図る。
  - ・引渡し訓練、防火・防災教育、防犯教室、交通安全教室を実施し、危険予測能力の向上をめざす。
  - ・養護教諭や栄養教諭と連携した保健指導や食育指導を進め、子どもの自己管理能力を高める。

### 重点4 教職員としての資質を向上させる

- 子どもの学びの保障につながる教師の力量の向上
  - ・互いに授業を見合い、日常での授業研究を行うことで、授業力の向上につなげる。
  - ・子ども一人ひとりを理解し、その子に応じた指導方法や適切な対応ができるように、特別支援教育について研修を積む。
- 市教育委員会との連携
  - ・ICT活用実践推進校として、研究を深める。
  - ・思考ツール・タブレットの活用の研修の推進とタブレット活用技能習得をめざす。
- 学びの一体化の推進
  - ・南中学校校区の学校で連携し、教科指導・人権教育を軸とした各校種間の実践交流を通して学びの一体化を推進する。

### 重点5 地域や保護者と連携した学校づくりをすすめる

- 学校評価の活用
  - ・学校評価及びコミュニティスクール運営協議会の意見を学校運営に活かす。
- 地域との交流活動の推進
  - ・学童保育、河原田地区人権擁護、知区社協、農芸高校、老人会、消防団、自治会、獅子舞保存会、図書ボランティア等との連携を図り、「地域や人から学ぶ」をテーマに各学年で取り組みを行い、交流を推進する。
- 家庭学習での自主的な学習態度の育成
  - ・「家庭学習の手引き」をもとにした家庭学習の工夫・改善をする。
  - ・その子に応じた宿題を提示する。